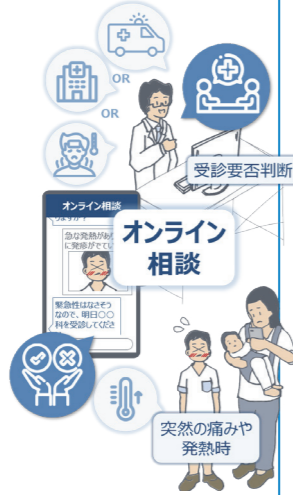


デジタルを活用した未来！これから目指す社会の一例を紹介します

1 オンラインでの相談や予約・受診を可能にし、医療にアクセスしやすく！

- ☑急な病気やケガの際にも、まずはオンラインで医師に対処を相談できます。
- ☑オンラインで診療の予約ができ、スムーズに受診できます。
- ☑オンラインで医師の診察を受けることができ、身近な場所で薬の受け取りや薬剤師への相談もできます。



4月から子育て世帯向けに「ひたち小児オンライン医療サービス」をスタートさせました。今後は、幅広い世代の方が気軽に医療相談や診察ができるよう取組を進めます。

地域医療対策課職員

2 データの活用で、自分の健康状態がより明確に！

- ☑健康診断などの健康データをもとに、AIが将来の健康状態を予測し、あなたにピッタリの健康アドバイスを提供します。
- ☑地域や家族で健康に関する学びを共有し、一緒に健康づくりに取り組み、世代を超えて健康を守る力を身につけられます。



市民一人ひとりの健康は元気なまちづくりの基本です。個人の生活習慣の改善や生活習慣病の発症・重症化予防、健康を支える環境づくりなど市全体としての健康づくりの推進を図ります。



健康づくり推進課職員

3 医療や介護などの多職種の連携がスムーズになり、サポートが充実！

- ☑老若男女問わず、みんなが集う場で気軽に健康・医療・介護相談ができるようになり、健康意識を高められます。
- ☑デジタルを活用した多職種情報連携により、自宅で安心して介護が受けられるよう、医療職や介護職などが手を取り合い患者を支えます。
- ☑離れて暮らす家族には、データを共有することで、毎日の活動の様子が伝わり、日々の安心につながります。



医療と介護を受けながらご自宅で生活する高齢者の方々の健康と安心を見守るため、デジタルを活用した多職種情報連携の体制づくりに取り組んでいます。



高齢福祉課職員

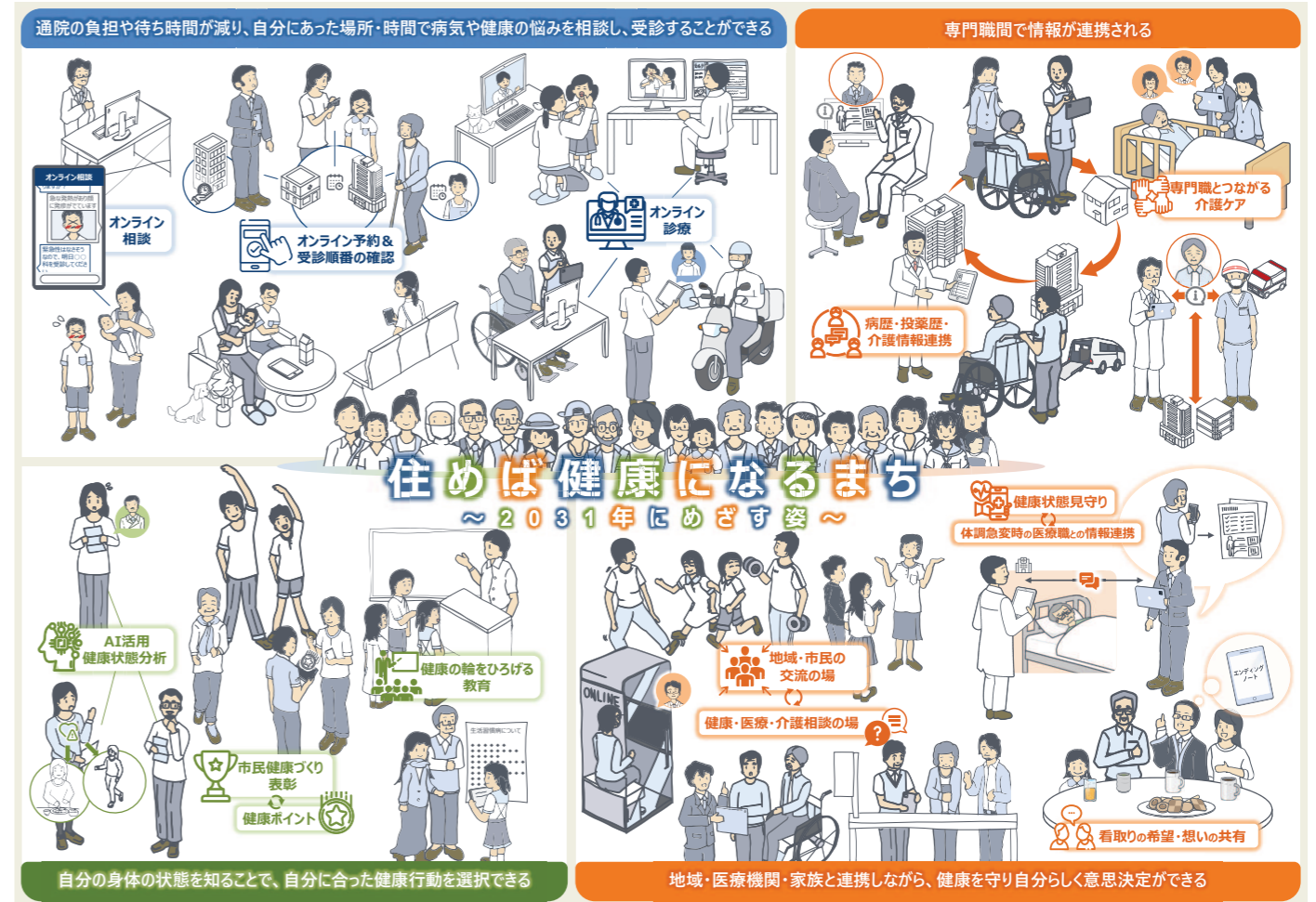
問合せ 全体に関すること＝共創プロジェクト推進本部 ☎内線 693 1に関すること＝地域医療対策課 ☎23-6766
2に関すること＝健康づくり推進課 ☎21-3300 3に関すること＝高齢福祉課・介護保険課 ☎内線 226

住めば健康になるまちの
グランドデザインを紹介します

日立市と日立製作所による共創プロジェクトで推進するテーマの一つ「デジタル健康・医療・介護の推進」において、「住めば健康になるまち日立市」を表現するグランドデザインを描きました。共創プロジェクトの取組を通して、生活スタイルに合った受診や医療相談の提供、健康行動の習慣化による健康寿命の延伸、地域で支えあう安全・安心な暮らしの実現により、市民が健康で安心して暮らせるまちをめざしていきます。



市 HP



共創プロジェクト推進本部 (健康・医療・介護担当) 課長 蛭田 直美

デジタル技術を活用し、誰もが安心して健康に生活できるまちの実現を目指し、日立市総合計画の最終年度である2031年に向けた将来像を描きました。日立製作所と協力し、皆さまの暮らしに新たな便利さや質の向上をもたらすような取組を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

皆さまにグランドデザインをお届けすることができ、大変嬉しく思います。共創プロジェクトの健康分野でめざす姿、社会像について、健康・医療・介護の専門家、市産業祭や共創HPで頂いたご意見も参考に、行政と企業の立場を超え時間をかけて詰めで議論し、日立市と日立製作所と共に作り上げました。これからの活動にもご期待ください。



日立製作所 社会イノベーション事業 統括本部 部長 松永 権介